

定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開会及び閉会日時

令和元年 12 月 23 日（月） 午後 4 時 00 分 開会
午後 5 時 30 分 閉会

2 開催場所

富士川町教育文化会館

3 出席及び欠席委員の氏名

出席委員 野中 正人 教育長 中村 高志 職務代理
望月 正人 委 員 大森きよ子 委 員
秋山 悦彦 委 員

4 議場に出席した事務局の職員の職氏名

教育総務課長 中込 浩司 生涯学習課長 深澤 千秋
教育施設整備統括監 渡辺 成昭 総務学校担当リーダー 三好 健
給食センター準備室長 大久保公生
社会教育担当リーダー 望月 大輔 社会体育担当リーダー 石坂 裕樹

5 傍聴人及び報道

なし

6 教育長報告

令和元年 11 月 20 日から令和元年 12 月 23 日までの事務事業について報告

【報告の要旨】

(1) 第 6 回ゆずの里「絶景ラン&ウォーク大会」の開催について

12 月 1 日に開催 町内外から 518 人参加

(2) 12 月定例議会について

12 月 6 日から 13 日まで開催

(3) わくわく科学教室の講座終了について 5 月から 12 月まで 5 回開催 小学生 40 人

(4) 令和 2 年度採用・昇任管理職及び主幹教諭選考面接検査受験者について

11 月 24 日筆頭試験実施

校長受験 3 人、教頭受験 4 人、主幹教諭受験 1 人

校長受検日（1 月 8 日）、教頭受検日（1 月 15 日）

主幹教諭受検日（1 月 17 日）

(5) 2020 年東京五輪、聖火リレーについて

12 月 17 日にリレー詳細コースと聖火ランナーの発表
富士川町は 6 月 27 日（土）に決定、延長 1.0 km を 5
人で繋ぐ。

(6) 第 10 回ふじかわカップ小中学生将棋大会について

12 月 15 日（日）に開催 町内外から 55 人参加

(7) 管内小中学校の冬季休業について

12 月 24 日から 1 月 8 日まで

(8) 各種大会について

中学校各種大会ほか

【委員了知】

7 会議に付した議案

なし

8 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

9 議事の概要

なし

10 協議事項

(1) 富士川町図書館管理運営計画について

議 長

計画内容について説明を求める。

事 務 局

資料により説明する。その中で、運営・管理に関する職員体制に係る記述内容について、各委員に意見を求める。

委 員

かなり具体的な内容になっている。8 ページ（4）の記述について、町民の要望を吸収しながら運営する内容を分かりやすい表現にしたらどうか。雑誌類について、どの図書館も同じような傾向にあるとを感じるが、違う視点から揃えることが出来るのか。

議 長

どこの図書館でも利用者の希望を聞いて、運営をおこなっている。「新図書館自らが成長し続けるよう努めます」の記述は、具体的にどのような方向性や目標があるのか。

委 員

事 務 局

具体的なものはまだない。県から助言された内容は、図書館がオープンしてからその方向性を出して行くので、成長の表現を使った。

議 長

勝沼では、ワインを題材として独自性を出している。当町では富士川舟運をどのように展示していくのか。文献などを中心に置いて、展示物は他所と連携するなど考えていく必要があると思う。

委 員

町外者から、舟運などの問い合わせは多くあると感じている。学習席が 7 席では少ないと思うが。

事 務 局

学習席と並んでいる閲覧席を、空いている時は利用していただくことを考えている。

議 長

時間制にして、長時間席を独占されないようなルール作りをするなど、柔軟に対応できるようにしたらよいのではないか。ある程度席を利用したら、他の人に譲ることを教えるのもよいと思う。

委 員	運用の仕方によって、少ない席数でもうまく出来ると思うが。
事 務 局	また、職員体制の部分で「常時4人」とはどのような状況か。
	会計年度職員の勤務時間から、図書館の開館時間を考えると、4人必要となる見込みであるが、人数を入れた計画書では、この数に縛られることが考えられ、サービス内容や利用人数によっては適正な数なのかが分からないため、この部分の表記として別案を考えたので、検討してもらいたい。
議 長	検討委員会の中でも、常時4人いるのが望ましいとの意見があったが、人数を入れない計画書とするのか。
事 務 局	検討された人数を目標として、4人の表記は報告書として残るが、計画書の中では数字を入れなくても変わらないと考えている。
議 長	計画書の中に「検討委員会の報告書を活かしながら」との文言を入れれば、人数を入れなくてもその内容は生きていくのではないか。
委 員	この部分には、2名と入れなくても良いのではないか。3ページの所に書かれているので省いて良いと思う。
議 長	計画書の中で、9ページに「指定管理者制度の導入は適さず・・・」とあるが、各委員の考え方を聞きたい。
委 員	この意見には賛成である。直営方式が望ましいと思う。
委 員	県立図書館はどのような形態か。
議 長	一部 YBS 関連が入っているが、直営である。葦崎や河口湖町の図書館は少し形態が違うが、指定管理は利益を目的とするため望ましくない。望月委員、秋山委員もこの文言を入れることでよろしいか。
委 員	問題ない。
事 務 局	この計画書は3月の定例議会に提出する予定なので、1月の教育委員会定例会に修正したものを出させてもらうことでよろしいか。

【委員了知】

11 報告事項の概要

(1) 令和元年 12 月定例町議会一般質問について

議 長	令和元年 12 月定例町議会一般質問等について説明を求める。
事 務 局	資料により説明する。
事 務 局	資料により説明する。
教 育 長	樋口議員の質問について、舟運関係の資料の活用が、今後の課題となっている。資料の展示については、どこかの建物を再利用することを考えており、新しく建設することは考えていない。地域のコミュニティーを活用した振興策については、テレビ取材で樋口議員が説明したこともあり、その点についての質問であった。 資料の展示や勉強会など委員会で企画し、来年度以降の課題としていきたい。

委 員	今後は、資料などの活用方法を具体的に検討していくのか。図書館の完成時に資料の展示などが出来れば良いと思うが。
教 育 長	来年度には、コンサルに委託するなど考えていく。図書館には書籍としての関係資料の展示を考えている。展示物などすべてを図書館に入れることは出来ないのでは、資料館は別に考えなければならないと思っている。
委 員 教 育 長	村田さんの所に写真があるが、一緒に展示などが出来ないものか。所有者本人と話が出来ない状況なので、親族と相談しながら展示できるものは取入れていきたいと考えている。

【委員了知】

(2) 教育四者（要望）への回答について

議 長	教育四者への回答の説明を求める。
事 務 局	資料により説明する。
議 長	今は学校の防犯対策に注目がある状況なので、カメラなどは早急に整備した方が良いと思う。
委 員 事 務 局	教職員の多忙化解消のことがあるが、ここにある制度の内容は。9月の定例議会において、望月眞議員の質問内容には、教材の作成補助が主だったものだが、ボランティア制度を実施している上野原市でも、2名しかおらず、教職員の要望する人材はなかなか集まらない状況であると聞いている。
大森 委員	退職女性教員による人材バンクで、家庭科授業でのミシンの扱いについて、4名でボランティア活動を行っている。学校から具体的な内容を出してもらい募集を行っていけば良いと思う。

【委員了知】

12 その他

(1) 学校給食試食会について

議 長	学校給食試食会について説明を求める。
事 務 局	資料により説明する。

【委員了知】

13 今後の日程について

事 務 局	資料により説明する。
-------	------------

【委員了知】

14 議決事項

なし

15 その他教育長が必要と認めた事項

なし

16 その他

○会議規則第16条第1項による会議の次第は別紙のとおり。

○次回教育委員会 定例会 1月24日（金）午前10時

会議録署名

教 育 長 _____

署名委員 _____

署名委員 _____

教 育 委 員 会 定 例 会 次 第

日時：令和元年12月23日（月）午後4時～

会場：富士川町教育文化会館 3階会議室

- 1 開 会
- 2 前回議事録の承認
- 3 議事録署名委員の指名
- 4 教育長の報告
- 5 議 題
- 6 協議事項
（1）富士川町立図書館管理運営計画について
- 7 報告事項
（1）令和元年12月定例町議会一般質問について
（2）教育四者（要望）への回答について
- 8 その他
（1）学校給食試食会について
- 9 今後の日程について
- 10 閉 会

1、第6回ゆずの里「絶景ラン&ウォーク大会」の開催について

12月1日に道の駅をスタート・ゴールとして開催され、町内外から518人（エントリーは571人、30年度エントリーより44人増）の参加がありました。県外からの参加者が多く、遠くは岩手県、徳島県からの参加がありました。（県内211人、県外307人）また、各地区の協力により6ヶ所にエイドステーション（給水ポイント）が設置され大変好評をいただくとともに、天候にも恵まれ盛会に開催されました。

棚田コース（31km）ラン 128人

棚田コース（31km）ウォーク 57人

ダイヤモンド富士コース（20km）ラン 157人

ダイヤモンド富士コース（20km）ウォーク 92人

ゆず畑コース（14km）ウォーク 84人

2、12月定例議会について

12月6日から13日までの8日間の会期で開催され、提出された案件は、条例改正7件、補正予算7件、組合規約改正・設置4件、計画変更案件1件、道路認定1件で審議が行われました。

なお、一般質問については、9人が登壇し、教育関係では、歴史遺産について、学校の防災防犯対策について、図書館についてなど、3人の議員が質問を行いました。

（質問内容、答弁については別紙のとおり）

3、わくわく科学教室の講座終了について

放課後子ども教室の一環として、管内小学校の教諭・OBを講師に、5月に開講した「わくわく科学教室」が全5回にわたる講座を開催し、12月7日に閉講しました。この教室には、40人の小学生の応募があり「それぞれの実験がおもしろかった」と好評でした。（昨年より5名増）

*第1回 ドライアイス・風船ボール 40人

*第2回 風船スライム・地面すれすれ紙飛行機 38人

*第3回 シャボン玉・ペットボトルロケット 38人

*第4回 浮沈子ゲーム・電気パン・バター作り 26人

*第5回 たまねぎ染め・静電気実験 33人

4、令和2年度採用・昇任管理職及び主幹教諭選考面接検査受検者について

11月24日に行われた筆頭試験（一次試験）について、結果が12月17日付けで地教委に通知がありました。面接受検に進む者は、校長受検が3人、教頭受検が4人、主幹教諭受検が1人でありました。

本町受検者の校長受検は、1月8日 教頭受検は、1月15日 主幹教諭受検は、1月17日に実施されます。

5、2020年東京五輪、聖火リレーについて

12月17日、2020年東京五輪の聖火リレー詳細コースと聖火ランナーの発表があり、富士川町は来年6月27日（土）に、青柳公民館付近を出発地、鯉沢警察署交差点を到着地としたコースが決定しました。コース延長は1.0km、5人のランナーで繋がります。また、聖火ランナーも同時に発表され、富士川町への公募では、ロンドン五輪代表の佐野夢加さんが選出されました。残りのスポンサー公募選手についても、順次発表される予定です。

6、第10回ふじかわカップ小中学生将棋大会について

12月17日、県内の小学生55人が参加し第10回ふじかわカップ将棋大会が町民会館で行われました。小学生5・6年生の部に15人、小学生4年生以下の部に40人の参加となりました。予選では、4人ないしは3人一組のリーグ戦を行い、2勝以上の者が本線（Aブロック）、残りの者でBブロックトーナメント戦を行いました。（各部門の成績は、別紙のとおり）

7、管内小中学校の冬季休業について

各学校ともに、2学期の終業式は12月24日、3学期の始業式1月8日となります。

8、各種大会等の結果

中学校での大会等は別紙のとおり

第10回ふじかわカップ小学生将棋大会入賞者一覧

	Aブロック			Bブロック			参加者数
	順位	氏名	学校・学年	順位	氏名	学校・学年	
小5・6年生の部	優勝	アルガ 有賀 柊和	相川小5年	優勝	アサダ 浅田 カズマ 一駿	双葉西小6年	15
	準優勝	デイト ハシ 出戸端 コウタ 晃太	石和北小6年	準優勝	イツカ 飯塚 マサナリ 正成	双葉西小6年	
	第3位	ナカムラ サクタロウ 中村 朔太郎	相川小5年	第3位	ウエダ ノミ 上田 望	玉幡小6年	
	第4位	ヤスタ 安田 ゆかり	舞鶴小5年	第4位	イシカワ タツマ 石川 達真	鰺沢小6年	
小4年生以下の部	優勝	モチツキ トモナリ 望月 友就	静岡市立森下小4年	優勝	ワタナベ セオ 渡辺 聖大	増穂小3年	40
	準優勝	タマル ナオ 田丸 直	山梨学院付属小4年	準優勝	ナカムラ フミミノ 中村 芙実乃	相川小3年	
	第3位	ワタナベ 渡辺 みずほ	沼津市立第五小4年	第3位	ハギハラ マナミ 萩原 真波	玉穂南小4年	
	第4位	ワカオ ソウダイ 若尾 聡大	駿台甲府小2年	第4位	オオニシ リクト 大西 陸斗	山梨学院付属小3年	
							55

各種表彰関係報告

増穂中学校

月日	大会名	部活名	種目	成績	氏名	学年
10月19日	JA共済全国書道コンクール	—	—	銅賞	石原 颯希	3年
				佳作	山形 笑佳	2年
					河澄 真慶	3年
11月16日	中学生短歌大会	—	—	入選	矢崎 蒼太	3年
					森元 孔貴	3年
					遠藤 咲歩	3年
					米長 由羽	3年
11月21日	教育祭県下小中学校図工美術作品展	—	—	県特選	望月 滉	3年
					秋山 月渚	3年
					野澤 悠斗	3年
					佐野 七葉	2年
					井上 雅月	2年
					石原 航希	2年
					市川 侑那	1年
					高田 藍寧	1年
					長澤 和未	1年
					深沢 小葉	1年
12月7日	県アンサンブルコンテスト	吹奏楽部	—	銀賞	増穂中学校吹奏楽部	—

鯉沢中学校

月日	大会名	部活名	種目	成績	氏名	学年
11月21日	教育祭県下図工・美術作品展	—	—	県特選	芦澤 奈歩	1年
				県特選	櫻井 皓晴	1年
				県特選	小林 未奈	2年
				県特選	小林 楽	2年
				県特選	磯野 匠邑	3年
				県特選	長田 桃枝	3年
				県特選	櫻井 乃愛	3年
				県特選	早川 実月	3年
12月3日	「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール	—	中学生の部	審査委員長賞	西尾 唯来	3年
				審査委員賞	磯野 匠邑	3年
				審査委員賞	河野 諒	3年
				審査委員賞	櫻井 乃愛	3年
				審査委員賞	高橋 周汰	3年

月 日	時 間	場 所	内 容
11月20日	13:00	県教育センター	県下教育長、教育委員会議
22日	10:00	役場会議室	友好交流都市選定委員会
24日	9:40	みさき耕舎	氷室の郷ふれあいまつり
25日	15:00	役場会議室	新庁舎建設町民懇話会
26日	13:30	町民会館	老壮大学
27日	13:30	県民文化ホール	県社会福祉大会
29日	15:00	町民館	南巨摩郡学校保健大会
29日	19:30	役場会議室	子ども子育て会議
30日	9:00	増穂南小	ゆずっ子文化祭
30日	16:00	道の駅	ラン&ウォーク大会交流会
30日-1日		県内	県下一周駅伝
12月1日	7:30	道の駅	ラン&ウォーク大会
"	8:00	いきいきスポーツ公園	増穂杯サッカー大会(スポ少)
3日	19:30	教育文化会館	図書館管理運営検討委員会
4日	9:30	教育文化会館	校長会
4日	19:30	町民会館	新庁舎建設町民説明会(第1回)
5日	10:00	南巨摩合同庁舎	R2教職員人事異動説明会
5日	14:20	富士吉田市	県放課後子ども総合プラン推進会議
5日	19:30	町民館	冬季青少年育成推進会議
6日	10:00	議場	議会開会・提案
7日	19:30	町民会館	新庁舎建設町民説明会(第2回)
8日	9:00	鵜沢中学体育館	町内ソフトバレーボール大会
9日	9:00	議場	町議会一般質問
10日	10:00	議場	町議会質疑・常任委員会
11-12日	13:30	教文館	学校予算ヒアリング
11日	19:30	役場会議室	山車巡行祭り実行委員会
12日	19:30	役場会議室	ふれあい110番の家連絡会
13日	10:00	議場	町議会討論・採決・閉会
15日	10:00	町民会館	ふじかわカップ小学生将棋大会
17日	10:00	南合同庁舎	峡南不登校生徒指導加算運営協議会
19日	10:30	教育文化会館	充て指導主事2学期活動報告
19日	13:30	町民会館	老壮大学
23日	14:00	議場	臨時議会
23日	16:00	教文館	教育委員会定例会
23日	19:30	町民館	ロードレース大会実行委員会
23日	19:30	教文館	成人式実行委員会
24日		管内学校	2学期終業式
25日	9:30	教育文化会館	学校長人事ヒヤリング

富士川町議会 令和元年 12 月定例町議会 一般質問 質問事項

通告 6 番 10 番 青柳 光仁 議員

1. 小中学校の防災防犯対策について

(1) 防犯対策マニュアルは作成されているのか伺う。

答弁

防犯対策マニュアルにつきましては、学校保健安全法において、児童生徒に危険や危害が生じた場合において、職員がとるべき措置の具体的な内容や手順を定めた対処要領を作成するものと定められております。

町内の各小中学校では、法律に基づき、校内に不審者が侵入した場合など、重大な事故や問題が発生した場合の各種マニュアルを作成し、全教職員で共有しているところであります。

(2) 防犯対策に対する保護者や地域との連携について伺う。

答弁

防犯対策に対する保護者や地域との連携につきましては、マニュアルの作成と同様に、学校保健安全法において、「児童生徒の安全の確保のため、保護者との連携を図るとともに、警察署や地域の住民等との連携を図るよう努めるものとする」と定められております。

町内の各小中学校においては、不審者やクマなどの出没情報を保護者への一斉メールや防災無線により周知しているほか、警察官による防犯教室や地域住民による登下校時の見守り、ふれあい 110 番の家などにより連携を図っているところであります。

今後も、保護者や地域等の協力をいただきながら、児童生徒の安全確保に努めてまいりたいと考えております。

(3) 災害避難マニュアルは作成されているのか伺う。

答弁

災害避難マニュアルにつきましては、先ほどの防犯対策マニュアルと同様に、法律に基づき、町内の各小中学校において地震や火災等の災害発生時のマニュアルを作成しております。

このマニュアルにつきましても、学校の全教職員が共有し、毎年マニュアルに基づき避難訓練等を実施するとともに児童生徒への防災教育の推進に努めてい

るところであります

(4) 災害避難マニュアルに対する保護者や地域との連携について伺う。

答弁

災害避難マニュアルに対する保護者や地域との連携につきましては、災害発生時の保護者への一斉メールによる緊急連絡や児童生徒の引き渡しが行えるよう、町内の保育所、幼稚園、小中学校の合同による、引き渡し訓練を実施しております。

また、大規模災害時には町で策定した避難所開設・運営マニュアルに基づき、校舎や体育館を避難所として開放し、地域における避難住民の受け入れを行うとともに、避難所運営のサポートを行うこととしております。

3. 小中学校の長寿命化計画について

(1) 小中学校の長寿命化計画は完成したのか伺う。

答弁

町では、将来にわたる財政負担の縮減と平準化を図り、学校施設を長期にわたり有効に利用するため、学校施設の長寿命化計画を策定することとし、本年6月に策定業務の委託契約を締結したところであります。

現在は、各学校施設の老朽化状況調査等が終了し、長寿命化計画案の策定を進めており、今年度末までに学校施設の長寿命化計画を策定することとしております。

富士川町議会 令和元年 12 月定例町議会 一般質問 質問事項

通告 2 番 2 番 樋口 正訓 議員

1. 歴史遺産について

- (1) 本町の有形文化財となっている山車 4 台の防火、防災対策について伺う。

答弁

現在、4 台の山車は、各保存会ごとに管理されており、上町の山車以外は、解体した状態で倉庫に保管されております。

山車が保管されている倉庫は、4 箇所とも防火設備等が十分でないため、防火対策や防災対策が万全とは言えない状況であります。有形文化財に対して、町では、文化財保護事業に対する補助金制度があります。

こうしたことから、今後は、町の補助金を活用しながら防火対策や防災対策をしていただくよう、各保存会を指導して参りたいと考えております。

- (2) 富士川舟運のもたらした歴史遺産収集の活用方法について伺う。

答弁

町では、江戸時代の物流拠点として栄えた富士川舟運の歴史を、後世に伝えていくため、広報誌や新聞掲載などにより、舟運資料の情報提供を呼び掛けております。

こうした中、36 件の情報提供をいただいております。現在、情報をいただいた内容について、確認作業を進めているところであります。

収集した資料等の活用方法といたしましては、町が所蔵しております富士川舟運に関する資料約 400 点も含め、展示施設などでの公開に向け検討を進めているところであります。

- (3) 地域のコミュニティを活用した特色ある歴史資料を展示する振興策について伺う。

答弁

現在、町では、富士川舟運資料の収集と併せ、収集した資料や現存する文化財などの活用方法を検討しているところであります。

収集した資料等の活用方法につきましては、具体的には、文化交流の拠点や学習機会の提供を行うことができる、特色のある展示施設などの整備があ

げられます。

今後、資料収集をさらに進め、町の活性化や地域の振興につながる資料の活用に努めていきたいと考えております。

通告7番 3番 笹本 壽彦 議員

2. 新町立図書館について

(1) 町立図書館の短期計画について伺う。

答弁

国が整備を進める富士川合同庁舎は、令和4年の後期に完成する予定であります。

新しい図書館の開館後は、家庭や地域における読書活動の推進や、図書館に関わる職員及び図書館事業を展開していくためのボランティアの人材確保と育成に努めていくこととしております。

また、図書館利用者の意見や要望の把握を行い、住民のための図書館として、地域の意向が尊重される図書館運営の確立に努めていきたいと考えております。

(2) 町立図書館の長期計画について伺う。

答弁

図書館は中立・公平・主体的に運営を行う責務があり、図書館の持つ持続性や長期的展望にたった資料収集に配慮する必要があります。

また、住民の暮らしに役立ち、学校図書館を支援する施設として機能することも必要と考えております。

こうしたことから、現在、国が示した「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に則しつつ、町民との協働による図書館づくりと、図書館サービスの向上に努め、地域の未来を見据えた長期の視点に立った運営を検討しているところであります。

(3) 近隣公立図書館との比較について伺う。

答弁

近隣の公立図書館と新たに本町が整備する図書館については、その施設規模や蔵書冊数、図書館サービスなどにより、一概に比較できるものではないと考えております。

町では、町立図書館整備・管理運営検討委員会において、住民生活をサポートする図書館づくりに向け、蔵書数、インターネット環境、図書館サービスなど他町村の公立図書館の状況を参考に魅力ある図書館となるよう検討を進めているところであります。

こうしたことから、今後、特色ある図書館に向け、利用者が必要とする情報の把握や近隣の公立図書館との連携に努めながら、図書館運営を進めていきたいと考えております。

(4) 図書館運営経費予測について伺う。

答弁

図書館の運営に係る経費については、施設においては、国の機関との合築という特殊性はあるものの、図書館で利用する光熱水費や共有施設となるエレベーターや電気機械の保守などがあげられます。

また、図書館運営に直接要する経費といたしましては、人件費、書籍代、蔵書管理システムや、システム保守などがあげられます。

町では、こうした経費が開館後も続くことから、今後、図書館運営全体の検討とともに、図書の提供を受けるなど経費の負担軽減に努めていきたいと考えております。

(5) 図書館運営経費における予算について伺う。

答弁

図書館運営に係る予算については、施設の維持管理費や図書館司書をはじめ、運営に携わる職員の配置などにより、これまでの町立図書館に係った経費よりも、歳出予算は増加することとなります。

こうしたことから、町では増加が見込まれる歳出予算の財源として、過疎対策事業債などの地方債や、図書館振興財団が行っている助成金事業の活用を要望する中で、財源確保に努めていきたいと考えております。

令和元年12月 日

富士川町PTA連合会長 田 中 修 様
富士川町校長会長 伊 藤 正 人 様
富士川町教頭会長 河 西 弘 明 様
富士川町教職員代表 齊 藤 和 貴 様

富士川町長 志 村 学

回 答 書

富士川町の教育向上のために、多大なご尽力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年11月11日付けで要望された項目について、次のとおり回答します。

1 学校教育環境の一層の充実

(1) 児童・生徒増に向けた人口増加対策について

○今後も、積極的な少子化対策や地域活性化事業の実施及び宅地の分譲、空き家活用策を推進するとともに、各種助成事業や空き家バンク等の充実を図って参ります。

○町独自の教育施策の周知については、町のホームページをはじめ、あらゆる機会を通じて情報発信し、児童生徒の増加に向けて努めて参ります。

(2) 町単講師及び支援員配置の継続雇用と、教職員の多忙化解消に向けての人員確保及び、ALTの継続配置について

○来年度の児童生徒の在籍状況及び県からの教員配置により対応して参ります。

○町単講師、支援員については、来年度の在籍児童の状況に応じて対応して参ります。

○教職員の多忙化解消に向けての対応は、教職員を支援するボランティアの登録制度について検討して参ります。

○英語専科教諭の配置及び、ALTによる町内3小学校への巡回指導は、引き続き人員配置できるよう対応して参ります。

(3) 義務教育費国庫負担制度の堅持等の上位機関への働きかけについて

○県と歩調を合わせる中で、国に要望して参ります。

(4) 町単栄養職員及び県費栄養職員の配置について

○増穂中への町単栄養職員の配置については、対応して参ります。

○県費栄養職員の2名配置については、配置できるよう要望して参ります。

2 保護者の教育費負担の一層の軽減、スクールバスの弾力的運用

○教育環境の充実を図る中で、負担軽減についても検討して参ります。

○町民バスの積極的な利用とともに、スクールバスについても、児童・生徒の通学に支障がない範囲で、県大会や学校行事等にも利用できるよう対応します。

3 子どもたちの安全の確保

(1) 地震等に備えた学校の防災設備の充実について

○施設の非構造部材の耐震化は、順次、計画的に整備しております。

○災害時に体育館等が被災者の避難所として、スムーズな運営ができるよう策定した学校施設避難所運営マニュアルの運用については、関係機関との協議を進めて参ります。

○地域住民のための防災用品の確保については、計画的に整備して参ります。

○現在、エリアメールの活用なども実施していますが、児童生徒への緊急連絡については、現在のシステムで対応していただきたい。

(2) 通学路の安全確保対策の充実について

○通学路安全プログラムに基づき、関係機関と連携して通学路の安全確保に努めて参ります。

○有害獣駆除対策については、関係機関と連携して危険予防等に努めて参ります。

○大型車両の通行を伴う工事については、関係機関と協議して通学路の安

全確保に努めて参ります。

(3) 自然災害に対する安全対策について

○子供たちを猛暑から守るため、観察・指導だけでなく、熱中症の予防や設備の充実などの対策に努めるとともに、大雪や台風、土砂災害等の自然災害についても、学校と綿密な連携を図り、児童生徒の安全を最優先して対応して参ります。

(4) 学校内外における防犯安全対策について

○児童生徒の防犯安全対策については、スクールガードリーダーによる学校周辺や通学路の巡回や、青色防犯パトロール車によるパトロールの実施、ふれあい110番の家との連携により充実に努めて参ります。

○声かけ事案や不審電話等の対策については、学校、警察、防災課、教育委員会、教育事務所との連携により、一斉メール通報・防災無線放送などの活用を図りながら、速やかな情報提供、注意喚起に努めて参ります。

○各小中学校における防犯カメラ、注意喚起の看板設置については、検討して参ります。

4 子どもたちがいきいきと活動できる各種施設の整備と充実

(1) 学校施設の環境整備について

○特別教室へのエアコン設置については、これまで学校との協議に基づいて整備し、概ね完了したところであります。今後、さらなる児童生徒への影響が出る場合には、学校との協議を進めて参ります。

○学校施設の老朽化対策は重要な課題でありますので、子供たちの安全・安心を確保するため、本年度策定する長寿命化計画のなかで、中長期的な取組の方向性を検討して参ります。

(2) 児童クラブの利用について

○長期休暇中における児童クラブの利用時間については、就労形態の多様化が進む中、より早い時間帯の開所のニーズがあることは認識しております。今後も、利用者にとってより良い運営の充実を図るとともに、安心して子育てのしやすい環境となりますよう、引き続き努めて参ります。

(3) 誰からも親しまれる町立図書館の建設について

○町立図書館の建設については、国のシビック・コア地区整備事業として、国の合同庁舎との合築により整備して参ります。今後は、本年度策定する図書館運営の基本計画に基づき、町民に親しまれ、学び合い、繋がりが生まれる図書館となるように努めて参ります。

- (4) 「富士川いきいきスポーツ公園」が、子どもたちも安全に楽しく遊べる公園となるよう、施設整備等の安全確保について

○現在、管理棟建設に着手し、来年度には利用できる状況となります。今後、トイレや水道などの整備も行い、利用する人々が安全で安心して、楽しく利用できる公園となるよう努めて参ります。

月 日	時 間	場 所	内 容
12月27日	16:00	教文館	仕事納め式
1月4日	12:30	文化ホール	成人式
5日	8:30	鰺沢小中学校校庭	消防団出初式
6日	9:00	役場会議室	仕事始め式
"	18:00	かどや	町議会新年互礼会
8日		各学校	3学期始業式
"	9:00	役場会議室	当初予算ヒアリング
9日	10:00	教文館	校長会
"	14:30	かじかざわ児童センター	ことばの教室共同設置協議会総会
"	15:30	かじかざわ児童センター	充て指導主事共同設置会議
"	16:00	かじかざわ児童センター	峡南地域教育支援センター会議
10日	18:00	いち柳ホテル	山教組峡南支部新年互例会
11日	19:00	いち柳ホテル	体育協会新年互礼会
14日		各地域	どんど焼き
15日	19:30	町民会館	スポーツレクレーション祭実行委員会
17日	17:30	いち柳ホテル	峡南校長会新年互例会
19日	6:03	長野県立科町	スキー・スノーボード教室
20日		増穂小学校	学校給食試食会
21日	11:30	いち柳ホテル	老人クラブ新年互例会
"	19:30	教育文化会館	町民会館だより編集委員会
"		鰺沢小・増穂中学校	学校給食試食会
22日		増穂南小学校	学校給食試食会
24日	19:00	身延町総合会館	地推協子育て支援学習会
25日	10:00	教育文化会館	定例教育委員会